

# M•ONE

DUAL EFFECTS PROCESSOR



USER'S MANUAL



# 目次

## はじめに

目次	3
はじめに	5
フロントパネル	6
リアパネル	8
シグナルフロー	9

## 基本操作

M•ONEディスプレイ	10
I/O SETUP	入出力設定 11
UTILITY & MIDI	ユーティリティ及びMIDI設定 12
ROUTING	ルーティング 13
RECALL	プリセットの呼び出し 16
STORE	保存 17
TAP	タップ・テンポ 17

## エフェクト

REVERB - リバーブ	18
HALL	ホール 18
ROOM	ルーム 19
PLATE 1	プレート1 20
PLATE 2	プレート2 21
SPRING	スプリング 22
LIVE	ライブ 23
AMBIENCE	アンビエンス 24
DELAY - ディレイ	25
ONE TAP	ワン・タップ 25
TWO TAP	ツー・タップ 25

CHORUS - コーラス	26
---------------	----

CLASSIC	クラシック 26
4-VOICE	4 ヴォイス 26
FLANGER - フランジャー	27
CLASSIC	クラシック 27
4-VOICE	4 ヴォイス 27
PITCH - ピッチ	28
PITCH DETUNE	ピッチ・ディチューン 28
PITCH SHIFT	ピッチ・シフト 28
PARAMETRIC EQ - パラメトリックEQ	29
DYNAMICS - ダイナミクス	30
COMPRESSOR	コンプレッサー 30
LIMITER	リミッター 30
GATE/EXPANDER	ゲート/エキスパンダー 31
DE-ESSER	ディエッサー 32
TREMOLO - トレモロ	33
HARD	ハード・トレモロ 33
SOFT	ソフト・トレモロ 33
PHASER - フェーザー	34
VINTAGE	ヴィンテージ・フェーザー 34
SMOOTH	スムーズ・フェーザー 34

## 付録

安全のために	35
準拠規格	36
MIDIインプレメンテーション	37
仕様及び性能	38



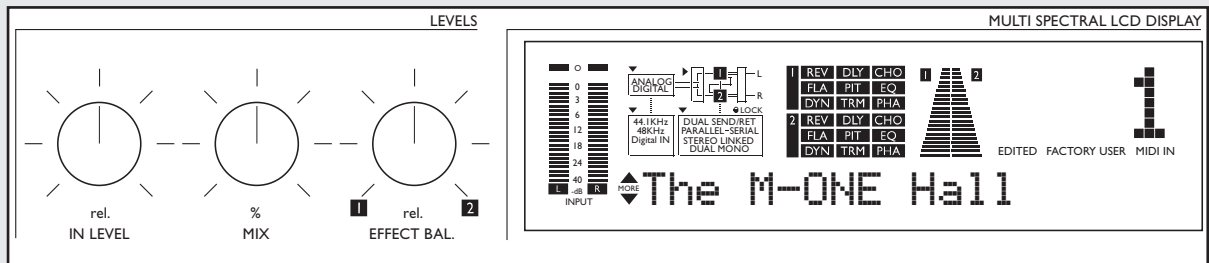
# はじめに

この度は、TCエレクトロニックM•ONEをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

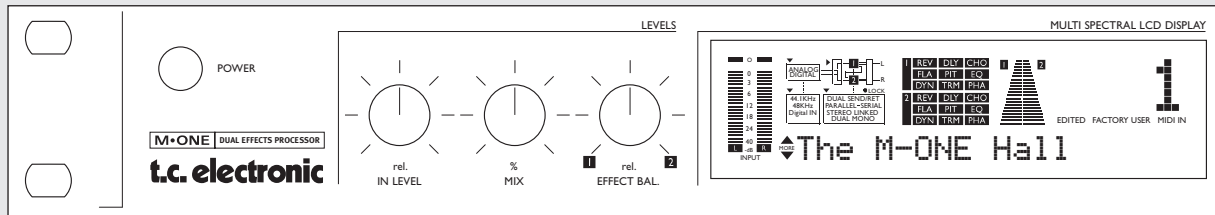
M•ONEは、高品位リバーブに焦点を当てたデュアルエンジン・マルチエフェクト・プロセッサです。柔軟な内部ルーティング構造と、20を超えるアルゴリズムの搭載により、幅広い用途に対応します。ミキサーから二系統のエフェクト・センド/リターンに接続して独立したエフェクトを施したり、サンプラー等の音源に直接接続してコンプレッサーとディレイを直列に施すなど、M•ONEは、本体の接続方法や用途に縛られない自由度を提供します。

M•ONEは、高品位リバーブを主に、20を超えるアルゴリズムを搭載しています。各エフェクトの効果や実力をご確認いただく一番の近道は、実際に各アルゴリズムをご経験いただくことです。本和文ガイドには、本体の基本的な操作法が記されています。本体をご使用いただく前、あるいはご使用いただきながら、本マニュアルをご一読されることをお勧めいたします。

- Hall
- Room
- Plates 1&2
- Spring
- Live
- Ambience
- Delay One Tap
- Delay Two Tap
- Chorus Classic & 4-voice
- Flange: Classic & 4-voice
- Pitch: Detune & Pitch Shift
- Parametric EQ
- Compressor/Limiter
- Gate/Expander
- De-esser
- Tremolo
- Phaser



# フロントパネル



## POWER ボタン

電源をON/OFFします。

## IN LEVEL ツマミ

入力レベルを調節します。

## MIX ツマミ

ドライ音（原音）とウェット音（エフェクト音）の比率を指定します。時計回りに回しきった状態で、100%ウェットになります。

## EFFECT BAL ツマミ

エンジン1/2間のバランス調節です。

## INPUT メーター

左右チャンネル独立の入力ピークメーターです。メーターのレンジは、0, -3, -6, -12, -18, -24, -40dBの切替が可能です。

## OVERLOAD LED

次のいずれかの状態が検出されると、このLEDが点灯します。

- 過大入力レベルによるオーバーロード
- DSP 内部処理のゲイン増幅等によるオーバーフロー

OVERLOAD LEDは、1 サンプル単位の精度で、0dBFSのレベルが検出された際に点灯します。

## ANALOG/DIGITAL LED

選択されている使用入力端子のLEDが点灯します。入力の選択は、I/O Setupメニューから行います。

## サンプリングレート表示

クロックソース及びマスタークロックを表示します。デジタル入力使用時に有効なクロックが検出されない場合、DIGITAL INアイコンが点滅します。

## ルーティング・インジケータ

現在選択されているルーティング（内部接続方法）を表示します。

## アルゴリズム・インジケータ

各エンジンで使用しているアルゴリズムを表示します。

## ダイナミクス・メーター 1+2

ダイナミクス処理を行うアルゴリズムを選択している場合、各メーターは該当エンジンのゲインリダクション幅を表示します。

M•ONEは、コンプレッサー／リミッター／ゲート／エキスパンダー／ディエッサーのダイナミクス・アルゴリズムを搭載しています。

## プリセット表示

プリセット番号及びプリセット・タイプ（ファクトリー／ユーザー）を表示します。

## EDITED アイコン

現在呼び出されているプリセットに変更が加えられると、このアイコンが点灯します。

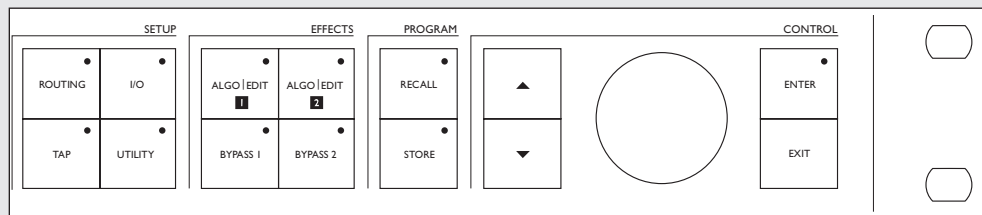
## FACTORY/USER アイコン

使用しているプリセットのバンク（ファクトリーあるいはユーザー）を表示します。ファクトリー・プリセットは書き換え不可、ユーザー・プリセットは書き換え可能です。

## MIDI IN アイコン

MIDI信号が入力された際に点灯します。

# フロントパネル



## ROUTING ボタン

本体の内部ルーティングを設定します。デュアル・センドリターン、パラレル、パラレル／シリアル、シリアル、ステレオ、デュアル・モノが選択できます。

## I/O

信号の入出力等、本体の基本動作に関わる設定を行います。

- 入力ソース：アナログ／デジタル
- サンプリングレート：44.1 / 48 kHz / DI (デジタル入力)
- バイパスモード：BYPASS 1+2 ボタンの解説をご参照下さい。
- グローバル・アウトプット・レベル
- 入力センシティビティ：コンシューマー (-10dBu) / プロフェッショナル (+4dBu) 切替
- ディザ：16 / 20 / 24 (オフ) 切替

## TAP

全体のタップ・テンポを入力する場合、及びタップ・メニューの表示に使用します。

タップ・テンポの分割ビートはこのメニューから指定します。タップ・テンポは、ディレイタイム、コーラスのレート等に適応できます。

## UTILITY

MIDI、SysEx-ID、ルーティング・ロック、バイパス・モード、ペダル設定を行います。

## ALGO/EDIT 1+2 ボタン

選択されているエンジンの編集、及びアルゴリズム変更メニューを表示します。

## BYPASS 1+2 ボタン

UTILITYメニューから、バイパスボタンを押した際の動作を指定できます。M・ONEは3つのバイパス・モードを持ちます：

- 1 Bypass (バイパス)  
入力信号が直接出力されます。
- 2 Bypass FX Input (入力バイパス)  
エンジンの入力段階を無音にします。BYPASSボタンを押した際に、押す前までの原音に対するエフェクト音の残響は鳴り続けます。同量のドライ音は常に出力されます。
- 3 Bypass FX Output (出力バイパス)  
BYPASSボタンを押した際に、ウェット音が瞬時に途切れます。同量のドライ音は常に出力されます。

## RECALL ボタン

リコール・メニューを選択します。CONTROLホイールでプリセットを選択し、ENTERボタンで指定したプリセットを呼び出します。

## STORE ボタン

プリセット保存を行うためのSTOREメニューを選択します。プリセットの保存は、ユーザー・バンクに対してのみ行えます。保存先は、CONTROLホイールで指定します。ENTERで操作を確定します。

## カーソルボタン (上下矢印)

ディスプレイ内のカーソルを移動します。

## ENTER ボタン

操作を確定します。プリセットの呼び出し等でこのボタンを使用できる状態になると、LEDが点灯します。

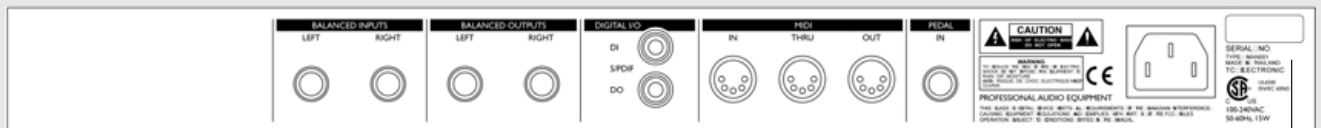
## EXIT ボタン

メニューから抜け出す、あるいは操作を確定せずに取り消したい場合にこのボタンを使用します。

## CONTROL ホイール

主に、設定値の変更に使用します。

# リアパネル



バランス  
1/4"  
アナログ  
入力

バランス  
1/4"  
アナログ  
出力

デジタル  
S/PDIF  
入出力

MIDI  
In/Out/Thru

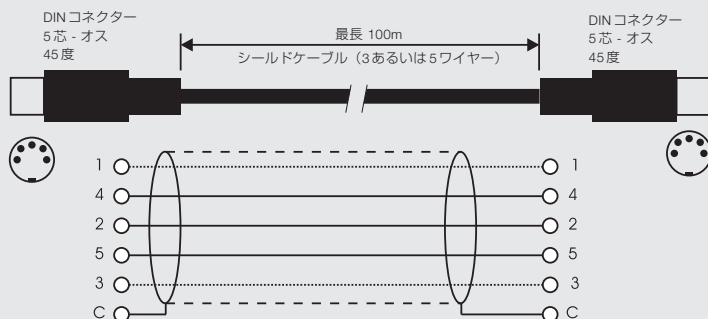
ペダル入力

電源  
入力

シリアル#

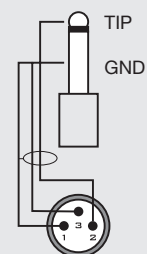
(Use Left Input  
for Mono)

## MIDI ケーブル



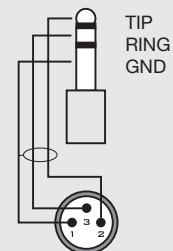
## Jack (unbalanced) - XLR

Sleeve - Pin 1 (Ground)  
Tip - Pin 2 (Hot)  
Sleeve - Pin 3 (Cold)



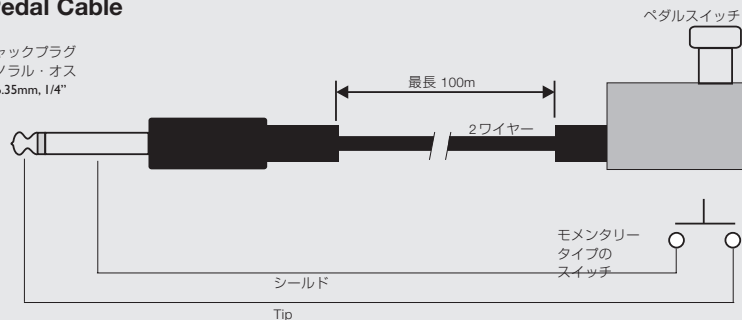
## Jack (balanced) - XLR

Sleeve - Pin 1 (Ground)  
Tip - Pin 2 (Hot)  
Sleeve - Pin 3 (Cold)

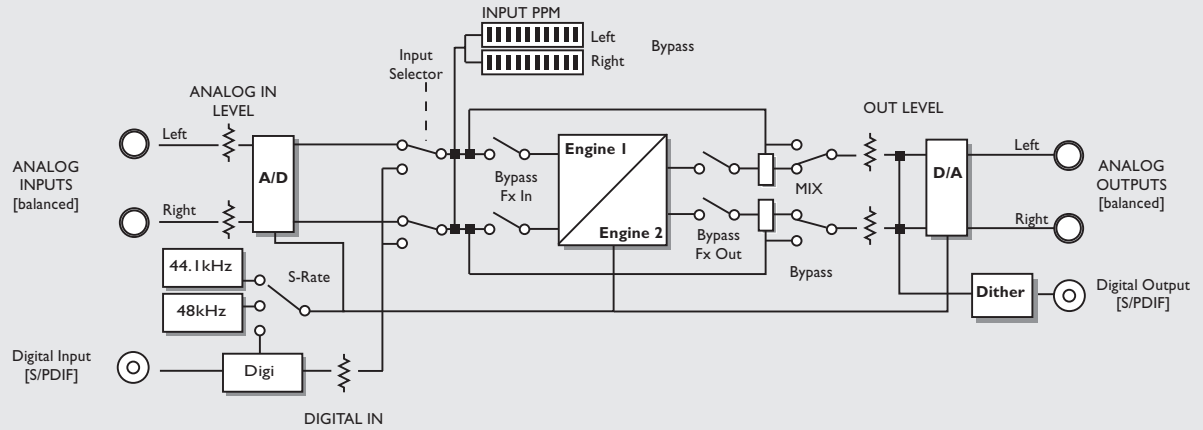


## Pedal Cable

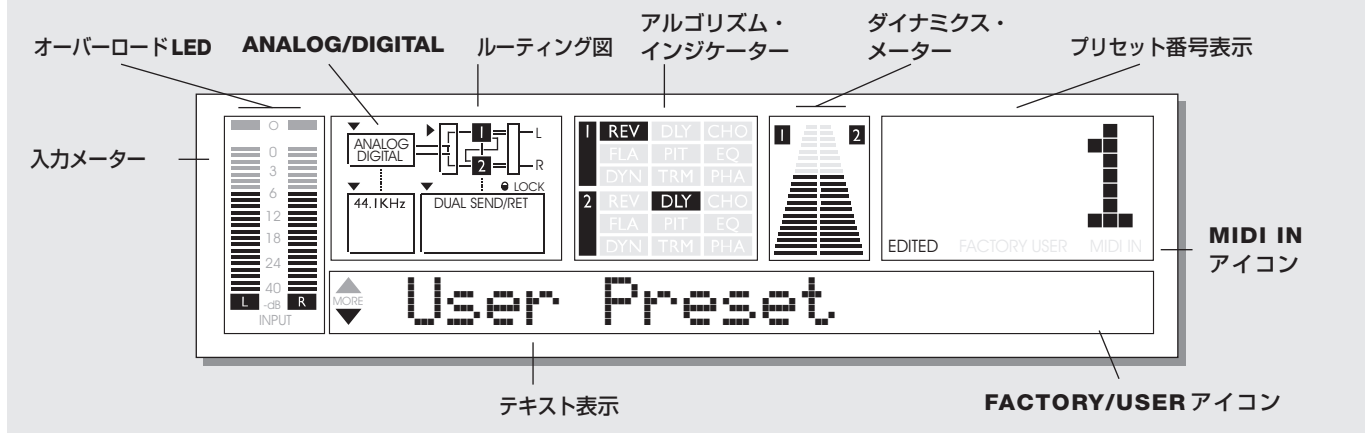
ジャックプラグ  
モノラル・オス  
Ø 6.35mm, 1/4"



# シグナルフロー



# M・ONEディスプレイ



## ANALOG/DIGITAL

ANALOG/DIGITAL インジケータは、選択された入力を示します。使用する入力端子の選択は、I/O Setup メニューから行います。使用入力端子の設定は、選択プリセットの状況に依存しません。

## サンプルレート

サンプルレート・インジケータは、クロックソース、及びマスタークロックのサンプルレートを表示します。

DIGI IN、44.1kHz、48kHzのいずれかが点灯します。

例：

- 外部デジタル信号のクロックにロックした場合には、DIGI IN 及びサンプルレートのLEDが点灯します。
- アナログ入力を選択し、内部クロックの動作時には、選択されたサンプルレートのLEDのみが点灯します。

デジタル入力使用時に有効なクロックが検出されない場合、DIGITAL IN アイコンが点滅します。

サンプルレートの設定は、選択プリセットの状況に依存しません。

## ルーティング図

選択されているルーティング図、及びルーティング名を表示します。

選択肢は次の通りです：

Dual Send/Return、Parallel、Parallel/Serial、Serial、Stereo Linked、Dual Mono

## アルゴリズム・インジケータ

各エンジンの起動アルゴリズムを表示します。

該当エンジンのEDIT ボタンを押すことにより、アルゴリズムを選択できます。選択肢は次の通りです：

REV、DLY、CHO、FLA、PIT、EQ、DYN、TRM、PHA

## ダイナミクス・メーター

各エンジンでダイナミクス・メーターが起動している際のゲイン・リダクション幅を表示します。

コンプレッサー、リミッター、ゲート、ディエッサー、エキスパンダーのアルゴリズムを起動時にメーターが作動します。

## プリセット番号表示

現在選択されているプリセット番号を表示します。

## EDITED アイコン

現在選択されているプリセットに編集が加えられた際に点灯します。

## FACTORY/USER アイコン

現在使用しているプリセット・バンクを表示します。

## MIDI IN アイコン

MIDI 信号が入力された際に点灯します。

## テキスト表示

通常は、プリセット名を表示します。

パラメータの編集時には、必要に応じて文字列が表示されます。

## I/O Setup

### 基本操作

- I/O ボタンを押します。このページでは、信号の入出力に関わる設定を行います。
  - 上下矢印ボタンで、編集するパラメータを選択します。
  - CONTROL ホイールで、パラメータの値を変更します。
- I/O ページ内での操作は、瞬時に有効になります。

### 使用入力端子の選択

#### アナログ入力を使用する場合：

上下矢印ボタンで、Input パラメータを選択します。  
グラフィック・ディスプレイ上、ANALOG/DIGITAL アイコン表示の上に▼が表示されます。  
CONTROL ホイールを回し、使用する入力端子（Analog）を選択します。  
Analog を選択すると、サンプルレートは自動的に 44.1kHz に設定され、グラフィック・ディスプレイ上に ANALOG 及び 44.1kHz のアイコンが点灯します。

#### デジタル入力を使用する場合：

上下矢印ボタンで、Input パラメータを選択します。  
グラフィック・ディスプレイ上、ANALOG/DIGITAL アイコン表示の上に▼が表示されます。  
CONTROL ホイールを回し、使用する入力端子（Digital）を選択します。  
Digital を選択すると、M•ONE は S/PDIF 入力信号からサンプルレートを検知しに行きます。  
サンプルレートの検出作業中は出力がミュートされ、DIGITAL IN アイコンが点滅してロックしていないことを示します。  
外部クロックとロックした時点で、点滅が点灯に変わり、出力が復帰します。

### Clock

#### アナログ入力を使用する場合：

入力ソースがアナログの場合、次のサンプルレートが選択できます：

44.1kHz	内部 44.1kHz で本体が作動します。
48kHz	内部 48kHz で本体が作動します。
Digital	S/PDIF DI 端子に入力されたクロックで本体が作動します。

#### デジタル入力を使用する場合：

入力ソースがデジタルの場合、次のサンプルレートが選択できます：

44.1kHz	内部 44.1kHz で本体が作動します。
48kHz	内部 48kHz で本体が作動します。

Digital

S/PDIF DI 端子に入力されたクロックで本体が作動します。



内部クロックを使用時にデジタル入力を選択する場合、接続元のクロックが M•ONE の内部クロックに同期していないとスリッブサンプルによるノイズが発生します。ご注意ください。



#### \*\*\* CLOCK MISMATCH \*\*\*

M•ONE がスリッブサンプルの発生を検出すると、上記のエラー・メッセージが表示されます。通常、このメッセージは、M•ONE を内部クロックで使用時に入力されたデジタル信号が同期していない場合にのみ表示されます。

### Out Range

アナログ出力の最大ゲイン・レンジを設定します。  
選択肢は次の通りです：2dBu、8dBu、14dBu、20dBu。

### Out Level

デジタル／アナログ両出力のレベルを調節します。  
0 から Off (-100dB) まで、1dB 単位で調節可能です。

### Dig InGain

デジタル入力のレベルを設定します。アナログ入力のゲインは影響されません。

### Dither

高いビット解像度から低い解像度へデータを移動する場合のデジタル信号を最適化します。例えば、24ビットから 16ビットにデータを変換する場合、8ビットのデータが失われます。このビット数の省略は「トランケーション」と呼ばれ、低レベルの信号に歪みをもたらします。ディザーは、この歪みを軽減します。

ディザーは、少量のフィルターされたノイズで、ノイズフロア付近での信号をランダム化します。このランダム化は、トランケーションによる歪みを軽減します。

ディザーは、デジタル出力にのみ意味を持ちます。本パラメータの適性な設定値は、接続先の受信デジタル機器に依存します。CD-R や一般的な DAT など、16ビットの機器に接続する場合は、ここでの設定を 16 にします。

## UTILITY

### 基本操作

- UTILITY ボタンを押します。このページでは、M•ONEの基本操作に関わる設定を行います。
  - 上下矢印ボタンで、編集するパラメータを選択します。
  - CONTROL ホイールで、パラメータの値を変更します。
- UTILITY ページ内での操作は、瞬時に有効になります。

### MIDI Chan

M•ONEの受信 MIDI チャンネルを指定します。  
選択肢は、次の通りです： Off、1～16、Omni。

### MIDI CC

コンティニューアス・コントローラ・データに反応するかを指定します。  
選択肢は、次の通りです： On、Off。

### Bulk Dump

ENTER を押すと、全プリセット内容のバルク・ダンプを行います。  
M•ONE は、いつでも MIDI バルク・ダンプの受信を行えます。

### SysEx ID

本体の MIDI システム・エクスクルーシブ ID を指定します。

M•ONE では、全エフェクト・パラメータ、アルゴリズム変更、及びルーティングをシステム・エクスクルーシブ信号で外部からコントロールできます。システム・エクスクルーシブ信号が、接続されている MIDI チェインのどの機器を目的としているのかを指定するため、システム・エクスクルーシブ信号の送受信には、双方の機器で番号を指定する必要があります。システム・エクスクルーシブ信号の交信は、双方の番号が一致しないと行えません。

### Prg Bank

プログラム・チェンジ信号を受信した際に呼び出されるプログラムのバンクを選択します。  
選択肢は、次の通りです： External、Factory、User。

### Routing Lck

M•ONE では、各プリセットに、適切と思われる内部ルーティング情報が含まれています。ただし、固定の接続方法で M•ONE を使用する場合、プリセット切替の際にルーティングも連動して変更してしまうと不都合の場合もございます。Routing Lock 機能を ON にすると、一度設定したルーティ

ングがプリセット変更の際にも固定となります。

選択肢は、次の通りです： On、Off。

### Bypass

エフェクトをバイパスした際の、M•ONEの動作を指定します。  
選択肢は、次の通りです：

- 1 0% Mix  
入力信号が直接出力されます。
- 2 Fx In (入力バイパス)  
エンジンの入力段階を無音にします。BYPASS ボタンを押した際に、押す前までの原音に対するエフェクト音の残響は鳴り続けます。同量のドライ音は常に出力されます。
- 3 Fx Out (出力バイパス)  
BYPASS ボタンを押した際に、ウェット音が瞬時に途切れます。同量のドライ音は常に出力されます。

### Pedal

リアパネルの PEDAL IN 端子に接続したフットスイッチの機能を選択します。モメンタリー・タイプのスイッチのみ、使用可能です。  
選択肢は、次の通りです： Bypass1、Bypass2、Bypass 12、Tap。

### Tap Unit

タップテンポを行う際の、テンポ表示の単位を切り替えます。  
選択肢は、次の通りです： BPM、ms (ミリ秒)。

### View Angle

画面のコントラストを変更します。

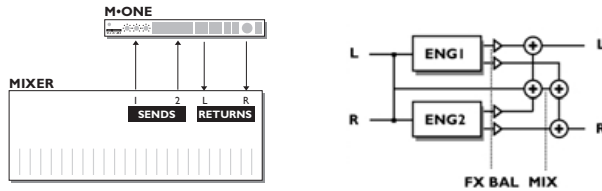
# ROUTING

ROUTINGメニューは、M•ONEの入力端子から内部エフェクト・エンジン、そして出力端子までの内部接続を設定するためのメニューです。ルーティング設定はプリセットの一部として保存されますが、Utilityメニュー内Routing Lock機能をOnにすることにより、プリセット変更の際にルーティングを連動して変更させないことも可能です。

## 基本操作

- ROUTING ボタンを押します。
- CONTROLホイールで、パラメータの値を変更します。  
パラメータを変更すると、ENTERボタンが点滅します。
- ENTERボタン押し、操作を確定します。

## Dual S/R - デュアル・センド／リターン



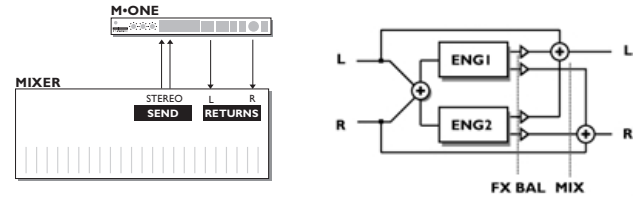
M•ONEを、二台の独立したエフェクト・プロセッサとして機能させます。左入力はエンジン1に、右入力はエンジン2にルーティングされます。エフェクト音は、出力端子からステレオで出力されます。

**EFFECT BAL.** 各エンジンの出力間のバランス調節です。

**MIX** 各エンジンの出力に独立してアウトプットされるドライ信号の量を指定します。ドライ信号は、モノで出力されます。M•ONEを、ミキサー等のセンド／リターンとして使用する場合は、時計回りに回しきった位置に設定します。

例：ミキサーに搭載されている2系統のAUX SENDから、M•ONEの入力に接続を行う場合、M•ONEを二系統の独立したモノ・イン／ステレオ・アウトのエフェクトとして使用することができます。M•ONEからの出力は、一つのステレオ・ペアに両エフェクトの信号がミックスされている状態となり、ミキサー側のリターン入力を節約できます。

## Parallel - パラレル (並列)



左右チャンネルの入力をミックスし、両エンジンにその信号を送ります。ドライ信号は、L/R関係を維持したまま、エフェクト出力とミックスされて出力されます。

**EFFECT BAL.** 各エンジンの出力間のバランス調節です。

**MIX** 各エンジンの出力に独立してアウトプットされるドライ信号の両を指定します。ドライ信号は、ステレオで出力されます。



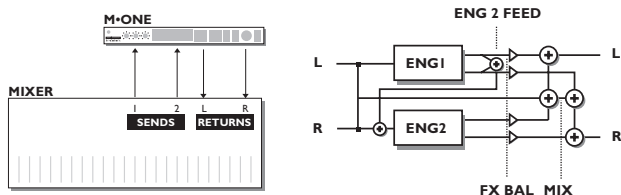
**TIP** Parallelルーティングは、一つのソースに二つのエフェクトを並列でかけたい場合に適しています。

例：ギタートラックに、コーラスとリバーブを同時にかけたいとします。エンジン1にコーラスを、エンジン2にリバーブを選択し、Parallelルーティングを選択します。

相互の音に影響を与えることなく、二つのエフェクトを同時に使用することができます。

# ROUTING

## Parallel/Serial - パラレル／シリアル



Dual Input ルーティングとは基本的に同様ですが、エンジン1の出力をエンジン2の入力に送ることができます。これは、例えばディレイ成分にのみリバーブを掛けるなどの効果が可能となります。エンジン1の出力からエンジン2の入力に送られる信号の量は、Eng2 Feedパラメータで指定できます。このパラメータはRoutingメニュー内にあり、パラメータの値はプリセットと共に保存されます。

**EFFECT BAL.** 各エンジンの出力間のバランス調節です。

**MIX** 各エンジンの出力に独立してアウトプットされるドライ信号の量を指定します。ドライ信号は、モノで出力されます。

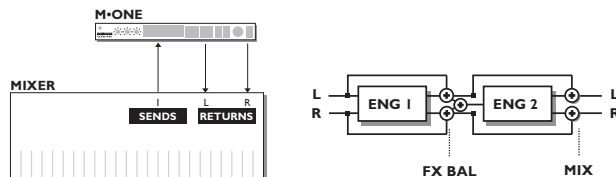
**Eng2 Feed** エンジン1の出力からエンジン2の入力に送られる信号の量を指定します。このパラメータは、Parallel/Serialルーティングを選択した場合にのみ表示されます。



Parallel/Serialルーティングは、各エフェクト音同士を部分的に相互干渉させたい場合に適しています。

例：リードボーカルに、ロング・ディレイとリバーブを使用したいとします。ミキサーのAUX SEND 1/2からM•ONEに接続します。エンジン1にディレイ、エンジン2にリバーブを呼び出し、Parallel/Serialルーティングを選択します。各エフェクトのレベルはミキサーのAUX SENDレベルに依存するため、ディレイとリバーブのレベルはミキサー側から独立して設定できますが、通常ではディレイ成分にリバーブがかからないために不自然な音になってしまいます。Parallel/Serialルーティングでは、ディレイ成分の信号にリバーブをかけることができます。

## Serial - シリアル（直列）



Serialルーティングでは、ステレオの入力信号がエンジン1・エンジン2の順に直列に通ります。

フロントパネルの各つまみは次の通り機能します：

**MIX** エンジン1のドライ／ウェット音の比率を調節します。

**EFFECT BAL.** エンジン2の入力段階でのドライ信号の量を指定します。この信号は、エンジン1のエフェクトを通った音となります。

上記の動作は、二つのつまみを、直列接続された二台のエフェクト機のMIXつまみの様に機能させます。

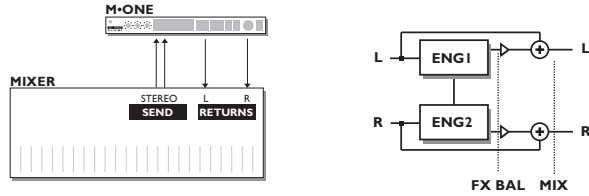


Serialルーティングでは、一つのソースに二つのエフェクトを直列につなぎたい場合に適しています。

例：エンジン1にディエッサーを、エンジン2に明るめのリバーブを選択します。ディエッサーがリバーブの前に歯擦音を除去するため、ボーカルトラックなどの耳障りな「s」音がブライتناリバーブにより増幅されることを防ぎます。

# ROUTING

## Stereo Linked - ステレオ・リンク



Stereo Linkedルーティングでは、各エンジンは必ず連動し、常に同じ設定を保ちます。左入力エンジン1、右入力エンジン2に接続され、完全なステレオ・イン/ステレオ・アウトのエフェクトとして機能します。

他のルーティングからStereo Linkedを選択すると、エンジン1の設定がエンジン2に反映されます。

**EFFECT BAL.** 各エンジンの出力間のバランス調節です。

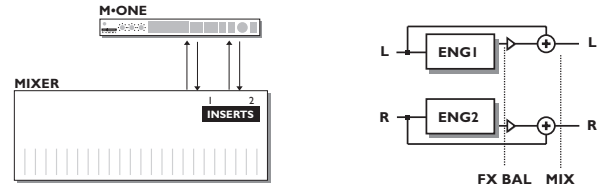
**MIX** 各エンジンの出力に独立してアウトプットされるドライ信号の量を指定します。ドライ信号は、ステレオで出力されます。



Stereo Linkedルーティングは、トゥルー・ステレオのエフェクトが必要とされる用途に適しています。

例：ミキサーのサブグループにM•Oneのコンプレッサーをインサートします。各チャンネルが同一設定に固定された、各チャンネル完全独立のステレオ・コンプレッサーとして機能します。

## Dual Mono - デュアル・モノ



Dual Monoルーティングでは、各エンジンは完全に独立し、それぞれモノ・イン/モノ・アウトのエフェクトとして機能します。左I/Oはエンジン1に、右I/Oはエンジン2に割り当てられます。

**EFFECT BAL.** 各エンジンの出力間のバランス調節です。

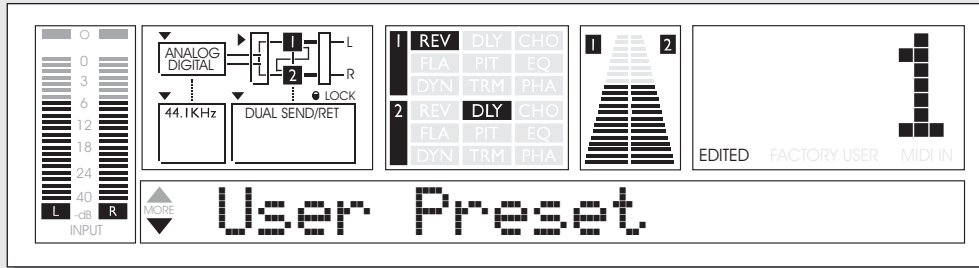
**MIX** ドライ信号の量を指定します。左右チャンネルは、完全に独立します。



Dual Monoルーティングは、M•Oneを二台の独立したモノ・エフェクトとして機能させたい場合に適しています。

例：ミキサーの二つの入力チャンネルに、それぞれリモートとEQをインサートしたいとします。一つ目のチャンネルにM•Oneの左I/Oを、二つ目のチャンネルにM•Oneの右I/Oを接続します。

# RECALL



## RECALL 画面

RECALL画面は、M•Oneのメイン・ページとも言える、操作の基本となるページです。

### プリセットの呼び出し方

- RECALLを押します。
- CONTROLホイールを回し、プリセットを選択します。  
プリセットの選択中には、プリセット番号表示とENTERボタンのLEDが点滅します。
- ENTERを押すと、選択されているプリセットが呼び出されます。

プリセット番号表示の点滅中にEXITを押すと、表示が現在起動しているプリセットに戻ります。

### プリセットの種類

#### ユーザー・プリセット - RAM

ユーザー・プリセットは、上書き可能です。

ユーザーが作成したプリセットを、最大100まで保存できます。

#### ファクトリー・プリセット - ROM

ファクトリー・プリセットは、上書きできません。

ファクトリー・プリセットに編集を加えたものを保存する場合は、ユーザー・プリセット領域に保存を行う必要があります。

M•Oneには、100のファクトリー・プリセットが搭載されています。

# STORE

## プリセットの保存

M•Oneでは、ユーザー・プリセット領域に最大100までのプリセットを新規保存できます。ファクトリー・プリセット領域に、ユーザーがプリセットを保存することはできません。

## 基本操作

STORE ボタンを押します。

プリセット番号表示、及びENTER ボタンのLEDが点滅します。

ファクトリー・プリセットに変更を加えたものを保存する場合、自動的に、ユーザー・プリセット領域の、一番始めの空領域が表示されます。

ユーザー・プリセットに変更を加えたものを保存する場合、元のプリセット番号が表示されます。

## 編集したプリセットを同じ名前で提示された領域に保存する場合

STORE ボタンを押します。

ENTERを押します。

画面は、短時間「Stored」と表示し、元の画面に戻ります。

## 編集したプリセットを同じ名前で新しい領域に保存する場合

STORE ボタンを押します。

CONTROLホイールを回し、保存先を指定します。

ENTERを押します。

画面は、短時間「Stored」と表示し、元の画面に戻ります。

## 編集したプリセットを、名前を変更して同じ領域に保存する場合

STORE ボタンを押します。

CONTROLホイールを回し、保存先を指定します。

再度STORE ボタンを押すか、下矢印ボタンを押します。プリセット名に、下線が表示され、プリセットの名称変更画面が表示されていることを示します。

矢印ボタンでカーソルを移動、CONTROLホイールで文字を変更します。

ENTERで、プリセットを保存します。

使用できる文字及び記号は、次の通りです：

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789 /\*-:."#\$%&()\_

# TAP

M•OneのTAPボタンは、状況によりディレイ・タイム、コーラス・レート等のパラメータをコントロールできます。

ボタンを一度押すことによりメニューを表示、二回以降繰り返し押し押すことにより本体にテンポの指定が行えます。

## 基本操作

- TAP ボタンを押します。
- 矢印ボタンでパラメータを選択します。
- CONTROLホイールで値を指定します。

## Tap

現在のタップ・テンポを表示します。

テンポは、ms（ミリ秒）あるいはBPMで表示されます。

## Tap SubDiv

M•Oneにテンポがタップされた際のビート分割点を指定します。

選択肢は、次の通りです：

Ignored（無視）、1、1/2D、1/2、1/2T、1/4D、1/4、1/4T、1/8D、1/8、1/8T、1/16D、1/16、1/16T、1/32D、1/32、1/32T

上記リストの「T」は三連を、「D」は符点を示します。

## Tap Func

タップ・テンポがどのエンジンに影響するかを指定します。

選択肢は、次の通りです：

Eng 1、Eng 2、Eng 1+2

## MIDI Sync

テンポをMIDIテンポに同期させます。

選択肢は、次の通りです：

On、Off

# REVERB - HALL

## リバーブについて

M•ONEに含まれるほとんどのリバーブは、初期反射音と余韻の2つの部分から構成されます。

- 初期反射音、あるいはリフレクションは、空間内で聞こえる残響音の初めの反射音をシミュレートします。本物の空間では、これらの初期反射音の情報により人間は音の位置や、空間のサイズを聴感上聞き取ります。
- リバーブのもう一つの部分である余韻は、リバーブ・テール、あるいはディフューズ・フィールドと呼ばれます。これは、空間の壁・床・天井に反射した音が何度も反射を繰り返し、原音が拡散した後の音を示します。余韻部分は、原音の特性が空間に拡散しきっており、原音とは大きく異なる特性を持っています。

これらの二つの部分を組み合わせる事により、ナチュラルな空間が再現できます。しかしながら、実存する空間の残響音は、その空間のサイズや形状、そして壁面の種類など、幅広い要因に左右されます。実際の残響音は、空間によって大きく違う特性を持ちます。そのため、M•ONEでは、レベル、カラー、そして各部分の残響音の長さをコントロールする自由度を準備しています。

次に、各リバーブ・アルゴリズムのパラメータを解説いたします。初期反射音と余韻部分のバランスなど、パラメータを色々な設定でお試しいただくことをお勧めいたします。貴方の音源に合う、驚く程の説得力を持った結果が得られるはずです。

## Hall - ホール

### Decay - ディケイ

(設定レンジ：0.02～20 sec)

リバーブ・テールの長さを指定します。リバーブ・テールのレベルが約60dB落ちるまでの時間を定義します。

### Predelay - プリディレイ

(設定レンジ：0～20 sec)

リバーブの初期反射音とリバーブ・テールの間にディレイを挿入します。プリディレイを使用することにより、リバーブ音が原音の輪郭を損なわない様に原音とリバーブを分離させる効果が得られます。



後述の Reflect Level を下げることにより、一般的な「スラップバック」効果を得られます。

### Size - サイズ

(設定レンジ：Small、Medium、Large)

初期反射音パターンのサイズを定義します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

6dB/octaveのカーブで、高周波数をロールオフします。素材の歯擦音等高周波数帯が、リバーブ成分により増幅される効果を防ぎます。



高周波数を除く際に、High CutとHigh Colorを使用した際の効果の差を使い分けられることをお勧めいたします。

### High Color - ハイ・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

高域のディケイタイムを調節します。リバーブ音全体の質感には影響を与えずに、歯擦音などをリバーブから取り除きます。

### Low Color - ロー・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

リバーブ音全体の質感には影響を与えないまま、ランブル音などがリバーブ成分で増幅されない様に、低域のディケイタイムを調節します。

### Reflect Level - 初期反射音レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

初期反射音のレベルを調節します。

# REVERB - HALL & ROOM



旧式のリバーブ機の多くは、初期反射音を生成しません。Reflect Levelを下げることで、旧式リバーブの特性に近づけることができます。

## Reverb Level - リバーブ・レベル

(設定レンジ：0～100dB)

リバーブの減衰成分のレベルを調節します。リバーブ・レベルを下げると、初期反射音が比率的に上がるため、よりアンビエントなサウンドを得られます。

## Mod Type - モジュレーション・タイプ

(設定レンジ：Off, Smooth, Vintage)

リバーブの減衰成分のモジュレーションの種類を切り替えます。

**SMOOTH** ソースにディチューンがかかることなく、減衰部分にモジュレーションをかける複雑なパターンです。

**VINTAGE** 旧式のリバーブ機の多くは、減衰音に非常に単純なパターンのモジュレーションを施し、ソースに対して若干のディチューンがかかった減衰パターンを持っています。ソースによっては、そのディチューン効果が音全体に広がりど躍動感を与えます。

## Mod Speed - モジュレーション・スピード

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションのスピードを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値となります。

## Mod Depth - モジュレーション・デプス

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションの深さを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値となります。

## FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

## Room - ルーム

### Decay - ディケイ

(設定レンジ：0.02～2.5 sec) リバーブ・テールの長さを指定します。リバーブ・テールのレベルが約60dB落ちるまでの時間を定義します。

### Predelay - プリディレイ

(設定レンジ：0～100 ms)

リバーブの初期反射音とリバーブ・テールの間にディレイを挿入します。プリディレイを使用することにより、リバーブ音が原音の輪郭を損なわない様に原音とリバーブを分離させる効果が得られます。



後述の Reflect Level を下げることで、一般的な「スラップバック」効果を得られます。

### Size - サイズ

(設定レンジ：Small, Medium, Large)

初期反射音パターンのサイズを定義します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

6dB/octaveのカーブで、高周波数をロールオフします。素材の歯擦音等高周波数帯が、リバーブ成分により増幅される効果を防ぎます。



高周波数を除く際に、High CutとHigh Colorを使用した際の効果の差を使い分けられることをお勧めいたします。

### High Color - ハイ・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

高域のディケイタイムを調節します。リバーブ音全体の質感には影響を与えずに、歯擦音などをリバーブから取り除きます。

### Low Color - ロー・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

リバーブ音全体の質感には影響を与えないまま、ランブル音などがリバーブ成分で増幅されない様に、低域のディケイタイムを調節します。

### Reflect Level - 初期反射音レベル

(設定レンジ：0～100dB)

初期反射音のレベルを調節します。

# REVERB - ROOM & PLATE I



旧式のリバーブ機の多くは、初期反射音を生成しません。Reflect Levelを下げることで、旧式リバーブの特性に近づけることができます。

## Reverb Level - リバーブ・レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

リバーブの減衰成分のレベルを調節します。リバーブ・レベルを下げると、初期反射音が比率的に上がるため、よりアンビエントなサウンドを得られます。

## Mod - モジュレーション

(設定レンジ：Off, On)

リバーブの減衰成分のモジュレーションの種類をON/OFFできます。モジュレーションをONにすることにより、実空間により近いナチュラルな減衰音が得られます。

## Mod Type - モジュレーション・タイプ

(設定レンジ：Off, Smooth, Vintage)

リバーブの減衰成分のモジュレーションの種類を切り替えます。

**SMOOTH** ソースにディチューンがかかるとなく、減衰部分にモジュレーションをかける複雑なパターンです。

**VINTAGE** 旧式のリバーブ機の多くは、減衰音に非常に単純なパターンのモジュレーションを施し、ソースに対して若干のディチューンがかかった減衰パターンを持っています。ソースによっては、そのディチューン効果が音全体に広がり、躍動感を与えます。

## Mod Speed - モジュレーション・スピード

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションのスピードを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値となります。

## Mod Depth - モジュレーション・デプス

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションの深さを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値です。

## FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

## Plate I - プレート I

### Decay - ディケイ

(設定レンジ：0.02～2.5 sec) リバーブ・テールの長さを指定します。リバーブ・テールのレベルが約60dB落ちるまでの時間を定義します。

### Predelay - プリディレイ

(設定レンジ：0～100 ms)

リバーブの初期反射音とリバーブ・テールの間にディレイを挿入します。プリディレイを使用することにより、リバーブ音が原音の輪郭を損なわない様に原音とリバーブを分離させる効果が得られます。



後述の Reflect Levelを下げることで、一般的な「スラップバック」効果を得られます。

### Size - サイズ

(設定レンジ：Small, Medium, Large)

初期反射音パターンのサイズを定義します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

6dB/octaveのカーブで、高周波数をロールオフします。素材の歯擦音等高周波数帯が、リバーブ成分により増幅される効果を防ぎます。



高周波数を除く際に、High CutとHigh Colorを使用した際の効果の差を使い分けられることをお勧めいたします。

### High Color - ハイ・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

高域のディケイタイムを調節します。リバーブ音全体の質感には影響を与えずに、歯擦音などをリバーブから取り除きます。

### Low Color - ロー・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

リバーブ音全体の質感には影響を与えないまま、ランブル音などがリバーブ成分で増幅されない様に、低域のディケイタイムを調節します。

### Reflect Level - 初期反射音レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

初期反射音のレベルを調節します。

# REVERB - PLATE 1 & 2



旧式のリバーブ機の多くは、初期反射音を生成しません。Reflect Levelを下げることで、旧式リバーブの特性に近づけることができます。

## Reverb Level - リバーブ・レベル

(設定レンジ：0～100dB)

リバーブの減衰成分のレベルを調節します。リバーブ・レベルを下げると、初期反射音が比率的に上がるため、よりアンビエントなサウンドを得られます。

## Mod - モジュレーション

(設定レンジ：Off, On)

リバーブの減衰成分のモジュレーションの種類をON/OFFできます。モジュレーションをONにすることにより、実空間により近いナチュラルな減衰音を得られます。

## Mod Type - モジュレーション・タイプ

(設定レンジ：Off, Smooth, Vintage)

リバーブの減衰成分のモジュレーションの種類を切り替えます。

**SMOOTH** ソースにディチューンがかかることなく、減衰部分にモジュレーションをかける複雑なパターンです。

**VINTAGE** 旧式のリバーブ機の多くは、減衰音に非常に単純なパターンのモジュレーションを施し、ソースに対して若干のディチューンがかかった減衰パターンを持っています。ソースによっては、そのディチューン効果が音全体に広がりど躍動感を与えます。

## Mod Speed - モジュレーション・スピード

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションのスピードを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値となります。

## Mod Depth - モジュレーション・デプス

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションの深さを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値です。

## FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

## Plate 2 - プレート 2

### Decay - ディケイ

(設定レンジ：0.02～20 sec) リバーブ・テールの長さを指定します。リバーブ・テールのレベルが約60dB減衰するまでの時間を定義します。

### Predelay - プリディレイ

(設定レンジ：0～100 ms)

リバーブの初期反射音とリバーブ・テールの間にディレイを挿入します。プリディレイを使用することにより、リバーブ音が原音の輪郭を損なわない様に原音とリバーブを分離させる効果が得られます。



後述のReflect Levelを下げることで、一般的な「スラップバック」効果を得られます。

### Size - サイズ

(設定レンジ：Small, Medium, Large)

初期反射音パターンのサイズを定義します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

6dB/octaveのカーブで、高周波数をロールオフします。素材の歯擦音等高周波数帯が、リバーブ成分により増幅される効果を防ぎます。



高周波数を除く際に、High CutとHigh Colorを使用した際の効果の差を使い分けられることをお勧めいたします。

### High Color - ハイ・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

高域のディケイタイムを調節します。リバーブ音全体の質感には影響を与えずに、歯擦音などをリバーブから取り除きます。

### Low Color - ロー・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

リバーブ音全体の質感には影響を与えないまま、ランブル音などがリバーブ成分で増幅されない様に、低域のディケイタイムを調節します。

# REVERB - PLATE 2 & SPRING

## Reflect Level - 初期反射音レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

初期反射音のレベルを調節します。



旧式のリバーブ機の多くは、初期反射音を生成しません。Reflect Levelを下げることで、旧式リバーブの特性に近づけることができます。

## Reverb Level - リバーブ・レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

リバーブの減衰成分のレベルを調節します。リバーブ・レベルを下げると、初期反射音が比率的に上がるため、よりアンビエントなサウンドを得られます。

## Mod - モジュレーション

(設定レンジ：Off, On)

リバーブの減衰成分のモジュレーションの種類をON/OFFできます。モジュレーションをONにすることにより、実空間により近いナチュラルな減衰音が得られます。

## Mod Speed - モジュレーション・スピード

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションのスピードを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値となります。

## Mod Depth - モジュレーション・デプス

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションの深さを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値です。

## FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

## Spring - スプリング

ヴィンテージのギター・アンプなどに内蔵される、往年のスプリング・リバーブの持つサウンドを再現します。

## Decay - ディケイ

(設定レンジ：0.02～20 sec) リバーブ・テールの長さを指定します。リバーブ・テールのレベルが約60dB減衰するまでの時間を定義します。

## Predelay - プリディレイ

(設定レンジ：0～100 ms)

リバーブの初期反射音とリバーブ・テールの間にディレイを挿入します。プリディレイを使用することにより、リバーブ音が原音の輪郭を損なわない様に原音とリバーブを分離させる効果が得られます。



後述の Reflect Levelを下げることで、一般的な「スラップバック」効果が得られます。

## High Cut - ハイカット

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

6dB/octaveのカーブで、高周波数をロールオフします。素材の歯擦音等高周波数帯が、リバーブ成分により増幅される効果を防ぎます。



高周波数を除く際に、High CutとHigh Colorを使用した際の効果の差を使い分けられることをお勧めいたします。

## High Color - ハイ・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

高域のディケイタイムを調節します。リバーブ音全体の質感には影響を与えずに、歯擦音などをリバーブから取り除きます。

## Low Color - ロー・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

リバーブ音全体の質感には影響を与えないまま、ランブル音などがリバーブ成分で増幅されない様に、低域のディケイタイムを調節します。

## FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

# REVERB - LIVE

## Live - ライブ

### Decay - ディケイ

(設定レンジ：0.02～2.5 sec)

リバーブ・テールの長さを指定します。リバーブ・テールのレベルが約60dB減衰する時間を定義します。

### Predelay - プリディレイ

(設定レンジ：0～100 ms)

リバーブの初期反射音とリバーブ・テールの間にディレイを挿入します。プリディレイを使用することにより、リバーブ音が原音の輪郭を損なわない様に原音とリバーブを分離させる効果が得られます。



後述の Reflect Level を下げるにより、一般的な「スラップバック」効果を得られます。

### Size - サイズ

(設定レンジ：Small、Medium、Large)

初期反射音パターンのサイズを定義します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

6dB/octaveのカーブで、高周波数をロールオフします。素材の歯擦音等高周波数帯が、リバーブ成分により増幅される効果を防ぎます。



高周波数を除く際に、High CutとHigh Colorを使用した際の効果の差を使い分けられることをお勧めいたします。

### High Color - ハイ・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

高域のディケイタイムを調節します。リバーブ音全体の質感には影響を与えずに、歯擦音などをリバーブから取り除きます。

### Low Color - ロー・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

リバーブ音全体の質感には影響を与えないまま、ランブル音などがリバーブ成分で増幅されない様に、低域のディケイタイムを調節します。

### Reflect Level - 初期反射音レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

初期反射音のレベルを調節します。



旧式のリバーブ機の多くは、初期反射音を生成しません。Reflect Levelを下げるにより、旧式リバーブの特性に近づけることができます。

### Reverb Level - リバーブ・レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

リバーブの減衰成分のレベルを調節します。リバーブ・レベルを下げると、初期反射音が比率的に上がるため、よりアンビエントなサウンドを得られます。

### Mod Speed - モジュレーション・スピード

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションのスピードを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値となります。

### Mod Depth - モジュレーション・デプス

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションの深さを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値です。

### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

# REVERB - AMBIENCE

## Ambience - アンビエンス

スプリングのアルゴリズムとは対照的に、ナチュラルなリバーブを実現します。

### Decay - ディケイ

(設定レンジ：0.02～2.5 sec) リバーブ・テールの長さを指定します。リバーブ・テールのレベルが約60dB減衰する時間を定義します。

### Predelay - プリディレイ

(設定レンジ：0～100 ms)

リバーブの初期反射音とリバーブ・テールの間にディレイを挿入します。プリディレイを使用することにより、リバーブ音が原音の輪郭を損なわない様に原音とリバーブを分離させる効果が得られます。



後述の Reflect Level を下げることで、一般的な「スラップバック」効果を得られます。

### Size - サイズ

(設定レンジ：Small, Medium, Large)

初期反射音パターンのサイズを定義します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

6dB/octaveのカーブで、高周波数をロールオフします。素材の歯擦音等高周波数帯が、リバーブ成分により増幅される効果を防ぎます。



高周波数を除く際に、High CutとHigh Colorを使用した際の効果の差を使い分けられることをお勧めいたします。

### High Color - ハイ・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

高域のディケイタイムを調節します。リバーブ音全体の質感には影響を与えずに、歯擦音などをリバーブから取り除きます。

### Low Color - ロー・カラー

(設定レンジ：-50～+50)

リバーブ音全体の質感には影響を与えないまま、ランブル音などがリバーブ成分で増幅されない様に、低域のディケイタイムを調節します。

### Reflect Level - 初期反射音レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

初期反射音のレベルを調節します。



旧式のリバーブ機の多くは、初期反射音を生成しません。Reflect Levelを下げることで、旧式リバーブの特性に近づけることができます。

### Reverb Level - リバーブ・レベル

(設定レンジ：0～-100dB)

リバーブの減衰成分のレベルを調節します。リバーブ・レベルを下げると、初期反射音が比率的に上がるため、よりアンビエントなサウンドを得られます。

### Mod - モジュレーション

(設定レンジ：Off, On)

リバーブの減衰成分のモジュレーションの種類をON/OFFできます。モジュレーションをONにすることにより、実空間により近いナチュラルな減衰音を得られます。

### Mod Speed - モジュレーション・スピード

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションのスピードを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値となります。

### Mod Depth - モジュレーション・デプス

(設定レンジ：-25～+25)

モジュレーションの深さを設定します。+/-25の設定幅は、リバーブのタイプ別に最適化されている適正值に対する相対的な値です。

### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

# DELAY - ONE TAP & TWO TAP

## One Tap - ワン・タップ

ワン・タップは、一つの系統のディレイ・ラインを装備しています。

### Delay Time - ディレイ・タイム

(設定レンジ：0～4000ms)

ディレイの長さを指定します。

### Feedback - フィードバック

(設定レンジ：0～100%)

出力から入力に循環させる信号の量を調節します。この値が大きい程、ディレイの反復回数が増加します。

### Pan - パン

(設定レンジ：50L～50R)

ディレイのパンニング（左右定位）を指定します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：500Hz～20kHz)

ディレイの出力が再度入力に循環される際に、ここで定義された周波数より上の帯域がカットされます。聴感上、より「ソフトな」ディレイ効果が得られます。

### Low Cut - ローカット

(設定レンジ：19.9Hz～2kHz)

ディレイの出力が再度入力に循環される際に、ここで定義された周波数より下の帯域がカットされます。ディレイ成分により全体の低域が聴感上飽和してしまう効果を防ぎます。

### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

## Two Tap - ツー・タップ

ツー・タップは、二系統の独立したディレイ・ラインを装備しています。

### Delay Time 1+2 - ディレイ・タイム 1+2

(設定レンジ：0～4000ms)

ディレイの長さを指定します。

### Offset - オフセット

(設定レンジ：0～200ms)

タップボタンによるテンポの指定に関わらず、ディレイのタップ1のディレイタイムに固定量のオフセットを加えます。

### Feedback 1+2 - フィードバック 1+2

(設定レンジ：-100～+100)

出力から入力に循環させる信号の量を調節します。この値が大きい程、ディレイの反復回数が増加します。

### Level 1+2 - レベル 1+2

(設定レンジ：-100～0dB)

選択したタップのレベルを指定します。

### Pan 1+2 - パン 1+2

(設定レンジ：50L～50R)

選択したタップのパンニング（左右定位）を指定します。

### High Cut - ハイカット

(設定レンジ：500Hz～20kHz)

ディレイの出力が再度入力に循環される際に、ここで定義された周波数より上の帯域がカットされます。聴感上、より「ソフトな」ディレイ効果が得られます。

### Low Cut - ローカット

(設定レンジ：19.9Hz～2kHz)

ディレイの出力が再度入力に循環される際に、ここで定義された周波数より下の帯域がカットされます。ディレイ成分により全体の低域が聴感上飽和してしまう効果を防ぎます。

### FX Level - エフェクト・レベル

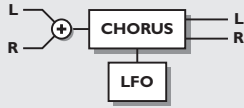
(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

# CHORUS - CLASSIC & 4-VOICE

## Classic - クラシック

コーラス／フランジャーは、基本的にLFO変調されたショート・ディレイです。M・ONEのクラシック・コーラスは、2ヴォイス構成で、スムーズ且つナチュラルなコーラス・サウンドを実現します。



### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)

機種によっては「レート」とも呼ばれるこのパラメータは、コーラスのスピードを調節します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)

機種によっては「インテンシティ」とも呼ばれるこのパラメータは、コーラスの深さを調節します。

### Delay - ディレイ

(設定レンジ：0～100ms)

コーラスは、基本的にLFO変調されたショート・ディレイです。このパラメータは、ディレイタイムを指定します。一般的なコーラスは10ms前後のディレイタイムを持ちます。

### FX Lev - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

コーラス効果のレベルです。

## 4-Voice - 4 ヴォイス

4ヴォイスのコーラスは、直列に配置されたクラシック・コーラス2基に対して、片方の位相反転と固定のディレイを加えたものです。ヴォイスが増えているため、クラシック・コーラスに比べて厚みのある音を得られます。

### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)

機種によっては「レート」とも呼ばれるこのパラメータは、コーラスのスピードを調節します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)

機種によっては「インテンシティ」とも呼ばれるこのパラメータは、コーラスの深さを調節します。

### FX Lev - エフェクト・レベル

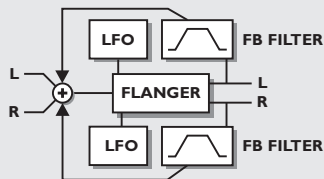
(設定レンジ：0～100%)

コーラス効果のレベルです。

# FLANGER - CLASSIC & 4-VOICE

## Classic - クラシック

コーラス／フランジャーは、基本的にLFO変調されたショート・ディレイです。M・ONEのクラシック・フランジャーは、2ヴォイス構成です。



### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)

機種によっては「レート」とも呼ばれるこのパラメータは、フランジャーのスピードを調節します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)

機種によっては「インテンシティ」とも呼ばれるこのパラメータは、フランジャーの深さを調節します。

### Feedback - フィードバック

(設定レンジ：-100～+100)

出力から入力に循環させる信号の量を調節します。この値がマイナスの場合、位相が反転した信号が再入力されます。

### Delay - ディレイ

(設定レンジ：0～100ms)

一般的なフランジャーは10ms前後のディレイタイムを持ちます。

### FX Lev - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

フランジャー効果のレベルです。

## 4-Voice - 4 ヴォイス

4ヴォイスのフランジャーは、直列に配置されたクラシック・フランジャー2基にに対して、片方の位相反転と固定のディレイを加えたものです。ヴォイスが倍増しているため、クラシック・フランジャーに比べて厚みのある音が得られます。

### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)

機種によっては「レート」とも呼ばれるこのパラメータは、フランジャーのスピードを調節します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)

機種によっては「インテンシティ」とも呼ばれるこのパラメータは、フランジャーの深さを調節します。

### Feedback - フィードバック

(設定レンジ：-100～+100)

出力から入力に循環させる信号の量を調節します。この値がマイナスの場合、位相が反転した信号が再入力されます。

### FX Lev - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

フランジャー効果のレベルです。

# PITCH - DETUNE & PITCH SHIFT

## Pitch Detune - ピッチ・ディチューン

ピッチ・ディチューンは、信号に特定の音程をずらした音を加えます。一般的なピッチシフトは原音に別の音程を加える効果に使われますが、ディチューンはレンジが狭く、通常は音にワイド感を与える効果に使われます。

5-10セントのディチューンを加えることにより、コーラス的な効果を得られます。コーラスとディチューンの効果の差は、ディチューンを使用した際にはコーラス特有の周期的な音がないところにあります。

### Pitch 1+2 - ピッチ 1+2

(設定レンジ：-50～50 cent)

選択ヴォイスのピッチ変更幅を指定します。

### Level 1+2 - レベル 1+2

(設定レンジ：-100～0dB)

選択ヴォイスのレベルを指定します。

### Pan 1+2 - パン 1+2

(設定レンジ：50L～50R)

選択ヴォイスのパンニング（左右定位）を指定します。

### Delay 1+2 - デイレイ 1+2

(設定レンジ：0～100ms)

選択ヴォイスのディレイタイムを指定します。

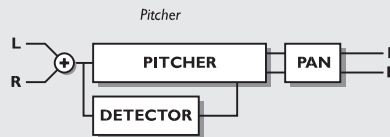
### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

## Pitch Shift - ピッチ・シフト

ピッチ・シフトは、信号に特定の音程をずらした音を加えます。M・ONEのピッチシフトは、原音に対して2ヴォイス分、別の音程を加えられます。



### Pitch 1 - ピッチ 1

(設定レンジ：-50～50 cent)

ヴォイス1のピッチ変更幅を指定します。

### Level 1 - レベル 1

(設定レンジ：-100～0dB)

ヴォイス1のレベルを指定します。

### Pan 1 - パン 1

(設定レンジ：50L～50R)

ヴォイス1のパンニング（左右定位）を指定します。

### Delay 1 - デイレイ 1

(設定レンジ：0～100ms)

ヴォイス1のディレイタイムを指定します。

### Pitch 2 - ピッチ 2

(設定レンジ：-50～50 cent)

ヴォイス2のピッチ変更幅を指定します。

### Level 2 - レベル 2

(設定レンジ：-100～0dB)

ヴォイス2のレベルを指定します。

### Pan 2 - パン 2

(設定レンジ：50L～50R)

ヴォイス2のパンニング（左右定位）を指定します。

### Delay 2 - デイレイ 2

(設定レンジ：0～100ms)

ヴォイス2のディレイタイムを指定します。

### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

エフェクト全体のレベルです。

# PARAMETRIC EQ

M•ONEのイコライザーは、3バンドのパラメトリックに加え、ハイシェルフ／ローシェルフを加えた5バンド構成です。

## ローシェルフ・バンド

### Low Freq - ローシェルフ周波数

(設定レンジ：19.95Hz～5.01kHz)

ローシェルフ・バンドのターゲット周波数を指定します。

### Low Slope - ローシェルフ・スロープ

(設定レンジ：3dB/oct～12dB/oct)

ローシェルフ・バンドのカーブを指定します。

### Low Gain - ローシェルフ・ゲイン

(設定レンジ：-12dB～+12dB)

ローシェルフ・バンドのカット／ブースト量を指定します。

## パラメトリック・フィルター

### Freq 1 - 周波数 1

(設定レンジ：19.95Hz～20kHz)

3つあるEQバンドの内、1つ目のEQバンドのターゲット周波数を指定します。

### BndWdth 1 - バンドワイズ 1

(設定レンジ：0.1oct～4oct)

3つあるEQバンドの内、1つ目のEQバンドのバンドワイズ（幅）を指定します。

### Gain 1 - ゲイン 1

(設定レンジ：-12dB～+12dB)

バンドのカット／ブースト量を指定します。

### Freq 2 - 周波数 2

(設定レンジ：19.95Hz～20kHz)

3つあるEQバンドの内、2つ目のEQバンドのターゲット周波数を指定します。

### BndWdth 2 - バンドワイズ 2

(設定レンジ：0.1oct～4oct)

3つあるEQバンドの内、2つ目のEQバンドのバンドワイズ（幅）を指定します。

### Gain 2 - ゲイン 2

(設定レンジ：-12dB～+12dB)

バンドのカット／ブースト量を指定します。

### Freq 3 - 周波数 3

(設定レンジ：19.95Hz～20kHz)

3つあるEQバンドの内、3つ目のEQバンドのターゲット周波数を指定します。

### BndWdth 3 - バンドワイズ 3

(設定レンジ：0.1oct～4oct)

3つあるEQバンドの内、3つ目のEQバンドのバンドワイズ（幅）を指定します。

### Gain 3 - ゲイン 3

(設定レンジ：-12dB～+12dB)

バンドのカット／ブースト量を指定します。

## ハイシェルフ・バンド

### High Freq - ハイシェルフ周波数

(設定レンジ：501.2Hz～20kHz)

ハイシェルフ・バンドのターゲット周波数を指定します。

### High Slope - ハイシェルフ・スロープ

(設定レンジ：3dB/oct～12dB/oct)

ハイシェルフ・バンドのカーブを指定します。

### High Gain - ハイシェルフ・ゲイン

(設定レンジ：-12dB～+12dB)

ハイシェルフ・バンドのカット／ブースト量を指定します。

### FX Level - エフェクト・レベル

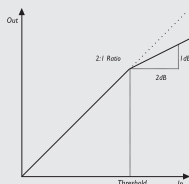
(設定レンジ：0～100%)

イコライザー全体の出力レベルです。

# DYNAMICS - COMPRESSOR & LIMITER

## Compressor - コンプレッサー

コンプレッサーは、入力信号の音量的なばらつきを圧縮することにより、信号を一定のレベルにコントロールします。入力信号がスレッシュホールド値を超えると、レシオ値に従って出力の音量を圧縮します。



### Threshold - スレッシュホールド

(設定レンジ：-60～0dB)

入力信号がこの値を超えると、コンプレッサーが作動します。設定値が低いほど、コンプレッサーが幅広いレンジにかけて作動します。

### Ratio - レシオ

(設定レンジ：Off～∞:1)

ゲインリダクションの比率です。例えば、レシオが4:1に設定されている場合、入力4dBに対して出力は1dBだけ増加します。

### Knee - ニー

(設定レンジ：Soft、Hard)

コンプレッサーが作動するスレッシュホールド値付近での、音量の増加曲線の「膝」の形状を示します。

Soft (ソフト・ニー) を選択した場合、スレッシュホールド値を超えた入力は、徐々にレシオ値に近づいた音量の圧縮を行います。Hard (ハード・ニー) を選択した場合、スレッシュホールド値を超えた入力は、すぐにレシオで指定された比率で圧縮されます。

### Release - リリース

(設定レンジ：10～100dB/sec.)

入力信号がスレッシュホールド値を下回った際に、コンプレッサーが作動している状態から入出力レベルの比率が1:1に戻るまでの時間です。

### Gain - ゲイン

(設定レンジ：-100～+30dB)

圧縮によるゲイン縮小を補正するためのゲインコントロールです。

### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

コンプレッサーの出力レベルです。

## Limiter - リミッター

リミッターは、レシオの高いコンプレッサーと考えられます。主な用途はコンプレッサーとは若干異なり、レベルがデジタル領域での絶対的な上限である0dBFSを超えることを防ぐ目的で使用されます。

### Threshold - スレッシュホールド

(設定レンジ：-60～0dB)

入力信号がこの値を超えると、リミッターが作動します。設定値が低いほど、リミッターが幅広いレンジにかけて作動します。

### Ratio - レシオ

(設定レンジ：Off～∞:1)

ゲインリダクションの比率です。例えば、レシオが4:1に設定されている場合、入力4dBに対して出力は1dBだけ増加します。

### Attack - アタック

(設定レンジ：0.3ms～100ms)

入力信号がスレッシュホールド値を上回った際に、指定されたレシオ値まで信号を圧縮するのにかかる時間です。

### Release - リリース

(設定レンジ：20ms～7.0 sec.)

入力信号がスレッシュホールド値を下回った際に、リミッターが作動している状態から入出力レベルの比率が1:1に戻るまでの時間です。

### Gain - ゲイン

(設定レンジ：-100～+30dB)

極度の圧縮によるゲイン縮小を補正するためのゲインコントロールです。

### FX Level - エフェクト・レベル

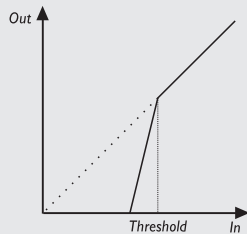
(設定レンジ：0～100%)

リミッターの出力レベルです。

# DYNAMICS - GATE / EXPANDER

## Gate - ゲート

ゲートは、「ダウンワード・エクスパンダー」とも呼ばれ、入力信号が設定されたスレッシュホールド値を下回った際に、レシオ値の割合で信号を減衰させます。一般的には、ボーカルやギターなどの素材にふくまれている無音部分のバックグラウンド・ノイズを除去する用途などに使用されます。ドラムの音にパンチを加え、よりパーカッシブな音にするなどの特殊効果にも使用できます。



### Threshold - スレッシュホールド

(設定レンジ：-60～0dB)

入力信号がこの値を下回ると、ゲートが作動します。設定値が高いほど、ゲートが幅広いレンジにかけて作動します。

### Ratio - レシオ

(設定レンジ：Off～∞:1)

ゲインリダクションの比率です。例えば、レシオが4:1に設定されている場合、入力が1dB減衰することには出力は4dB分減衰します。レシオが∞:1に設定されていると、入力がスレッシュホールド値を下回った際に出力は無音となります。

### Attack - アタック

(設定レンジ：0.5ms～100ms)

入力信号がスレッシュホールド値を下回った際に、指定されたレシオ値まで信号を圧縮するのにかかる時間です。例えば、レシオが4:1・アタックが20msの設定で、入力が瞬時にスレッシュホールド値を4dB下回った場合、M・ONEは20msの時間を掛けて16dBのゲインリダクションを行います。

### Release - リリース

(設定レンジ：20ms～7.0 sec.)

入力信号がスレッシュホールド値を上回った際に、ゲートが作動している状態から入出力レベルの比率が1:1に戻るまでの時間です。

### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

ゲートの出力レベルです。

## De-esser - ディエッサー

楽器や声の歯擦音を除去します。通常はEQで高周波数を下げますが、ディエッサーは、特定の周波数帯のレベルに対して作動するダイナミック・フィルター的一种です。フィルターがレベルに連動して作動するため、特定の周波数帯が耳障りになった時のみ処理を行う様に設定できます。

### Threshold - スレッシュホールド

(設定レンジ：-60～0dB)

後述のFrequencyパラメータで設定した周波数帯のレベルがこの値を下回ると、ディエッサーが作動します。

### Ratio - レシオ

(設定レンジ：Off～∞:1)

指定された周波数帯のゲインリダクション幅です。

### Frequency - 周波数

(設定レンジ：1kHz～20kHz)

ディエッサーの作動する周波数帯を指定します。

### Attack - アタック

(設定レンジ：0.5ms～50ms)

入力信号がスレッシュホールド値を上回った際に、指定されたレシオ値まで信号を圧縮するのにかかる時間です。例えば、レシオが4:1・アタックが20msの設定で、入力が瞬時にスレッシュホールド値を4dB上回った場合、M・ONEは20msの時間を掛けて3dBのゲインリダクションを行います。

### Release - リリース

(設定レンジ：20ms～7.0 sec.)

入力信号がスレッシュホールド値を下回った際に、ディエッサーが作動している状態から入出力レベルの比率が1:1に戻るまでの時間です。

### FX Level - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

ディエッサーの出力レベルです。

# TREMOLO - HARD & SOFT

## トレモロについて

トレモロは、左右チャンネルに同じ周期で音量が上下する効果です。ギターや、ワーリッツァー・ピアノなどで多く使用されます。

## Hard - ハード・トレモロ

攻撃的なトレモロ効果が得られます。音量変化の周期は、次の様な波形となります。



### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)

トレモロの速度を指定します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)

トレモロの深さを調節します。

### FX Lev - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

トレモロ効果のレベルです。

## Soft - ソフト・トレモロ

音量変化の際に、最大・最小のボリュームに到達している時間が短いため、ハード・トレモロに比べて、ゆるやかでソフトな効果が得られます。音量変化の周期は、次の様な波形となります。



### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)

トレモロの速度を指定します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)

トレモロの深さを調節します。

### FX Lev - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)

トレモロ効果のレベルです。

# PHASER - VINTAGE & SMOOTH

## フェーザーについて

フェーザーは、LFO変調された周波数に施されるコム・フィルターの集合体です。ドライとミックス音がミックスされると、フェーズ・キャンセレーションにより独特の位相感が得られます。フェーザーの効果は、ドライ音と合わせた際に生じるため、ウェット音のみでは効果が半減します。

## Vintage - ヴィンテージ・フェーザー

ヴィンテージ・フェーザーは、4つのオールパス・フィルターを使用します。これらのフィルターの集合体が、フェーザー特有のコム・フィルターの特性を形成します。

### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)  
フェーザーの速度を指定します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)  
フェーザーの深さを調節します。

### Range - レンジ

(設定レンジ：Low、Mid)  
フェーザーの作動する周波数帯を選択します。

### Feedback - フィードバック

(設定レンジ：-100～+100)  
出力から入力に循環させる信号の量を調節します。この値がマイナスの場合、位相が反転した信号が再入力されます。

### FX Lev - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)  
フェーザー効果のレベルです。

## Smooth - スムーズ・フェーザー

スムーズ・フェーザーは、12のオールパス・フィルターを使用します。これらのフィルターの集合体が、フェーザー特有のコム・フィルターの特性を形成します。フィルターの数がヴィンテージ・フェーザーに比べ多いため、よりスムーズな効果が得られます。

### Speed - スピード

(設定レンジ：0.05～19.2Hz)  
フェーザーの速度を指定します。

### Depth - デプス

(設定レンジ：0～100%)  
フェーザーの深さを調節します。

### Range - レンジ

(設定レンジ：Low、Mid)  
フェーザーの作動する周波数帯を選択します。

### Feedback - フィードバック

(設定レンジ：-100～+100)  
出力から入力に循環させる信号の量を調節します。この値がマイナスの場合、位相が反転した信号が再入力されます。

### FX Lev - エフェクト・レベル

(設定レンジ：0～100%)  
フェーザー効果のレベルです。

# 付録 - 安全のために

本体を接続する前に、必ず本ページの指示に従って配線を行って下さい。本マニュアルは、本機をご使用の際に必ず参照できる場所に保管し、本ページの注意事項に従った環境でご使用ください。



正三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、人体に対して有害な高電圧の電気ショックを与える部品が本体内部に配置されていることを示します。



正三角形に括られた「！」サインは、本体の使用上、及びサービス／メンテナンス上で、重要な情報が製品に同梱されている取扱説明書に含まれていることを示します。

## ご注意

- 雨の中や、湿度の高い場所での保管・使用はお避けください。人体に対して有害な高電圧の電気ショック、あるいは火事等の恐れがあります。
- 本体を開けないで下さい。人体に対して有害な高電圧の電気ショックを与える部品がございます。
- 本体は、必ずアースを配線した上でご使用ください。
- ご使用の際には、本体に同梱されている電源ケーブルを使用し、かならずアースを接続した上で、適切な電源プラグに接続してください。
- 本体をご使用の地域により、適切な電源ケーブルは異なります。本体をご購入と別の地域でご使用になられる場合で適切なケーブルがわからない場合は、各国のTCエレクトロニクス社あるいは輸入販売代理店までご連絡ください。
- 日本以外の地域で本機をご使用の場合は、次の表に従い、各地域の規格に準拠した電源ケーブルをご使用ください。

Voltage	Line plug according to standard.
110-125V	UL817 and CSA C22.2 no 42.
220-230V	CEE 7 page VII, SR section 107-2-D1/IEC 83 page C4.
240V	BS 1363 of 1984. Specification for 13A fused plugs and switched and un-switched socket outlets.

- 発熱・発火などの恐れがありますので、本機は、上下にスペースを確保した、空調されているラックに設置してください。
- 本機は、瞬時に電源ケーブルを抜き差しできる設置・配線を行ってください。
- 発熱・発火などの恐れがありますので、本機は、ラジエーター／音響用パワー・アンプリファイア／暖房器具等、また上記に限定されないあらゆる熱を発する機器の影響を受けない場所に設置してください。
- ツアーラック内に本機を設置する場合、フロントパネルのネジとは別に、背面も固定してご使用下さい。
- 本体の手入れには、柔らかい布で乾拭きします。本体に付着している埃等が、本体にキズをつける原因となる場合がございますので、ご注意ください。
- 電源ケーブルを接続の際には、必ず電源の極性を揃えてご使用下さい。極性を間違えますと、誤動作や事故の原因となる場合がございます。ご使用環境での電源プラグの極性がわからない場合は、最寄りの認定電気工事業者にご相談ください。
- 本機に同梱されている電源ケーブルを抜き差しされる際は、ケーブルを直接引っ張らないでください。内部断線等、破損の原因となります。破損ケーブルのご使用は、発火等重大な事故の原因となります場合があります。
- 落雷を伴う天候の場合、あるいは本機を長期間使用されない場合は、本機の電源ケーブルを壁面の電源プラグから抜いてください。
- 本機にショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。故障の原因となる場合がございます。

# 付録 - 準拠規格

## サービスについて

次の場合は、必ずTCエレクトロニクス日本支社までご連絡頂き、TCエレクトロニクス認定サービスセンターで点検・修理を行って下さい。

- 付属の電源ケーブルの破損等により、本体が破損した場合
- 雨や過度の湿度にさらしたり、液体を本体にこぼした場合
- 本体シャーシ内に異物が入ってしまった場合
- 本体の動作異常が生じた場合
- 本体を落とした場合

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B Digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installations.

This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The user may find the following booklet, prepared by the Federal Communications Commission, helpful:

"How to identify and Resolve Radio/TV interference Problems."

This booklet is available from the US. Government Printing Office, Washington, DC 20402, Stock No. 004-000-0034-4.

## Caution:

You are cautioned that any change or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

## For the customers in Canada:

This Class B Digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations. Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

### Certificate Of Conformity

TC Electronic A/S, Sindalsvej 34, 8240 Risskov, Denmark, hereby declares on own responsibility that following product:

#### M•ONE - Dual Effects Processor

- that is covered by this certificate and marked with CE-label conforms with following standards:

EN 60065 (IEC 60065)	Safety requirements for mains operated electronic and related apparatus for household and similar general use
EN 50081-1 Generic	Electromagnetic compatibility - emission standard - Part 1: Residential, commercial and light industry.
EN 50082-1	Electromagnetic compatibility - Generic immunity standard - Part 1: Residential, commercial and light industry.

With reference to regulations in following directives: 73/23/EEC, 89/336/EEC

Issued in Risskov, November 1999

Anders Fauerskov  
Chief Executive Officer

# 付録 - MIDI インプレメンテーション

DUAL EFFECTS PROCESSOR M•ONE - NOVEMBER - 1999

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
<b>Basic Channel</b>	Default	1	1	
	Changed	1-16	1-16	
<b>Mode</b>	Default			
	Messages	X	X	
	Altered			
<b>Note Number</b>		X	X	
	True Voice	X	X	
<b>Velocity</b>	Note ON	X	X	
	Note OFF	X	X	
<b>After Touch</b>	Key's	X	X	
	Ch's	X	X	
<b>Pitch Bend</b>		X	X	
<b>Control Change</b>		from 10 and up	from 10 and up	Eng 1: 16-31(MSB) Eng 1: 48-63(LSB) Eng 2: 70-85(MSB) Eng 2: 102-117(LSB)
All Controllers are dual Byte type, scaled to parameter range.				
<b>Prog Change</b>		O	O	
<b>System Excl.</b>		O	O	
<b>Common</b>	:Song Pos	X	X	
	:Song Sel	X	X	
	:Tune	X	X	
<b>System real time</b>	:Clock	X	O	
	:Commands	X	X	
<b>Aux Messages</b>	:Local ON/OFF	X	X	
	:All Notes OFF	X	X	
	:Active Sense	X	X	
	:Reset	X	X	
<b>O:YES</b>	<b>Mode 1: OMNI ON, POLY</b>	<b>Mode 2: OMNI ON, MONO</b>		
<b>X:NO</b>	<b>Mode 3: OMNI OFF, POLY</b>	<b>Mode 4: OMNI OFF, MONO</b>		

# 付録 - 仕様及び性能

## デジタル入出力

コネクター	RCA フォン (S/PDIF)
フォーマット	S/PDIF (24ビット)、EIAJ CP-340、IEC 958
出力ディザリング	HPF/TPDFディザラー 24/20/16/8ビット
サンプリングレート	44.1 kHz、48 kHz
処理遅延	0.1 ms @ 48 kHz
周波数特性 (デジタルI/O)	DC ~ 23.9 kHz ± 0.01 dB @ 48 kHz

## アナログ入力

コネクター	1/4 インチフォーンジャック、バランス
インピーダンス、 バランス/アンバランス	21 kOhm / 13 kOhm
最大入力レベル	+24 dBu
0dBFS 到達最小レベル	0 dBu
入力感度 @ 12 dB ヘッドルーム	-12 dBu ~ +12 dBu
A/D変換	24ビット、 128 x オーバーサンプリング・ビットストリーム
A/D変換遅延	0.65 ms @ 48 kHz、0.70 ms @ 44.1 kHz
ダイナミックレンジ	100 dB typ, 20 Hz ~ 20 kHz
THD	typ < 92 dB (0.0025 %) @ 1 kHz
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz: +0/-0.1 dB @ 48 kHz
クロストーク	<-95 dB、20 Hz ~ 20 kHz

## アナログ出力

コネクター	1/4 インチフォーンジャック、バランス
インピーダンス、 バランス/アンバランス	40 Ohm
最大出力レベル	+20 dBu (バランス)
出力レンジ	バランス: 20/14/8/2 dBu アンバランス: 14/8/2 dBu
D/A変換	24ビット、 128 x オーバーサンプリング・ビットストリーム
D/A変換遅延	0.63 ms @ 48 kHz、0.68 ms @ 44.1 kHz
ダイナミックレンジ	104 dB typ, 20 Hz ~ 20 kHz
THD	typ <-94 dB (0.002 %) @ 1 kHz, +20 dBu 出力
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz, +0/-0.5 dB @ 48 kHz
クロストーク	<-100 dB、20 Hz ~ 20 kHz

## EMC

準拠規格	EN 55103-1、EN 55103-2 FCC part 15 Class B、CISPR 22 Class B
------	---

## 安全

準拠規格	IEC 65、EN 60065、UL6500、CSA E65
------	--------------------------------

## 環境

動作環境温度	0° C ~ 50° C (32° F ~ 122° F)
保存環境温度	-30° C ~ 70° C (-22° F ~ 167° F)
湿度	最大 90% (結露状態を除く)

## コントロール・インターフェイス

MIDI	In/Out/Thru: 5ピンDIN
ペダル	1/4 インチフォーンジャック

## 一般

仕上げ	アノダイズドアルミニウムフェイスフロント、 スチールシャーシ
ディスプレイ	23キャラクター / 280アイコン STD-LCD 画面
寸法	483 x 44 x 195 mm (19" x 1.75" x 8.2")
重量	1.85 kg (4.1 lb.)
電源電圧	100 ~ 240 VAC, 50 / 60 Hz (自動切替)
消費電力	<15 W
保証期間	1年